



「書くこと」領域におけるICT活用例 ～単元を貫くロイロノート・スクールの活用～

「具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう」(光村図書・6年)での実践

【思考力, 判断力, 表現力等】

B 書くこと

ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝い合い、自分の文章の良いところを見付けること。

本単元について

1 本教材の主題

資源や環境を大切にするために、学校でできることはないかを具体的に考え、提案する文章を書くこと

※「提案する文章」(提案文)は子供にとって初めての文種
(提案する発表は5学年で既習)

2 単元を通してのキーワード

「**分かりやすい**」「**説得力ある**」文章を書こう

3 協働的活動→**グループで文章を仕上げる**

| | これまでの課題 | ロイロノート・スクールでは |
|-------|-----------------------------|------------------|
| 題材の設定 | 何を題材にしたら良いかが分からない | シンキングツールの活用と切り替え |
| 情報の収集 | アンケートを作り、回収し、集計する作業に時間がかかる | アンケートとwebの活用 |
| 構成の検討 | 構成を意識したり、検討したりすることは少ない | カードの並べ替え |
| 記述 | どこに何をどれだけ書いたら良いか分からない | ひな形を与える |
| 推敲 | 自分だけだと気付かない、友達が見ると時間がかかる | 子供同士で朱をいれあう |
| 共有 | 貼った付箋を紛失する！ 自分の良さが分かりづらい | 共有と相互評価 |

前に学習したものを効果的に生かしたい
自分なりに見やすくまとめたい

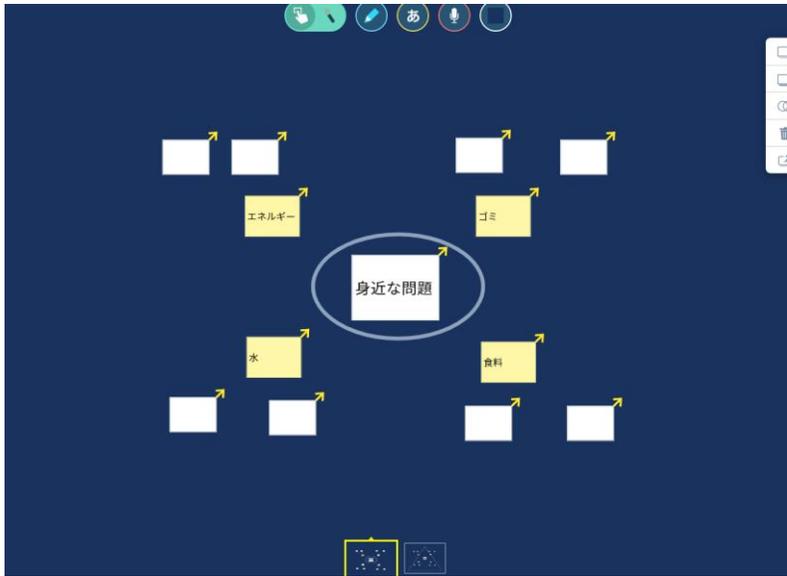


学習履歴の利用、共有ノートの活用も

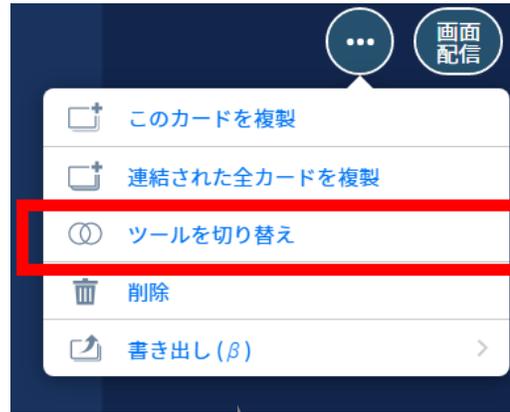
ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

シンキングツールの活用

→ウェビング、ピラミッドチャート「ツールを切り替え」



ウェビング



ツールを切り替えてもカードはそのまま残る



ピラミッドチャート

拡散させたアイデアを集約、軽重をつけることができるため、伝えたいことが明確になる

ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

「アンケート」の活用 思いついたらすぐにアンケートの実施、集計（提案文の根拠に活用する）



The screenshot shows a survey question in Japanese: "ここ1週間以内に校内外でマスクの落とし物を見ましたか。" (Did you find a lost mask on or off campus in the last week?). The question is set to "単一選択" (Single choice) and "回答必須" (Answer required). The response options are radio buttons for "毎日見た" (Saw every day), "3~4日見た" (Saw 3-4 times), "1~2日見た" (Saw 1-2 times), and "見ていない" (Did not see). There is also a "+ 選択肢を追加する" (Add options) button.

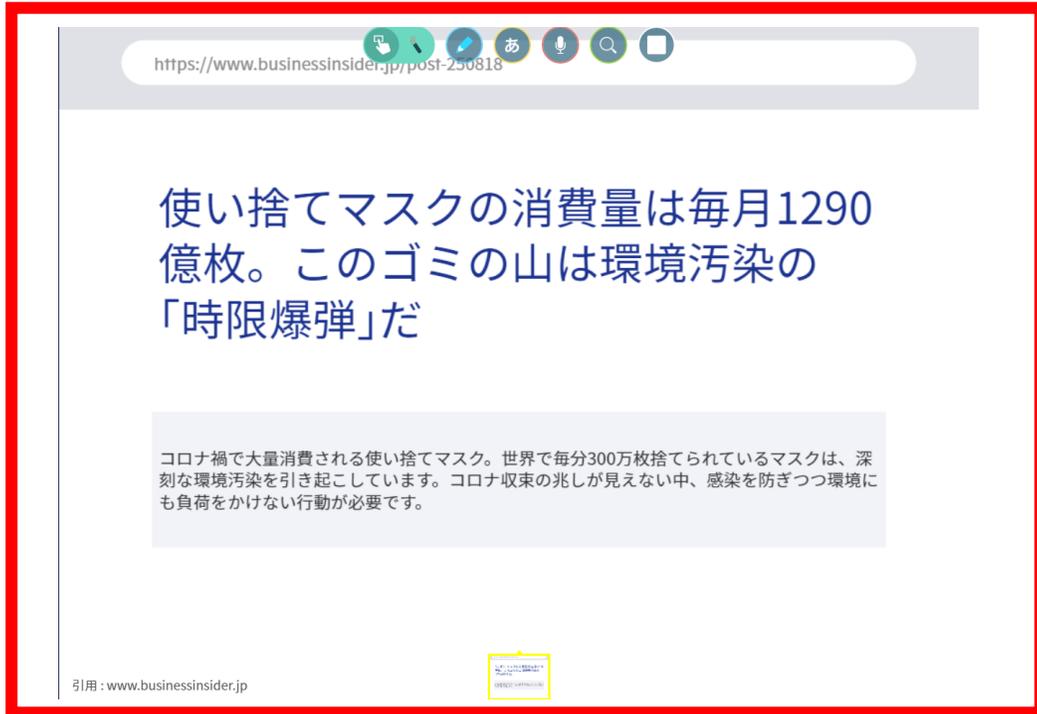
- 直感的に活用できる
- 追加の調査も容易
- 調査を重ねることで、根拠が強くなっていく
- 実施から集計までの時間の削減

自分たちに必要な情報は何かを考え、主体的・対話的に学習を進めることができる

ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

webの活用

Web上で気になる記事を引用 (提案文の根拠に活用する)



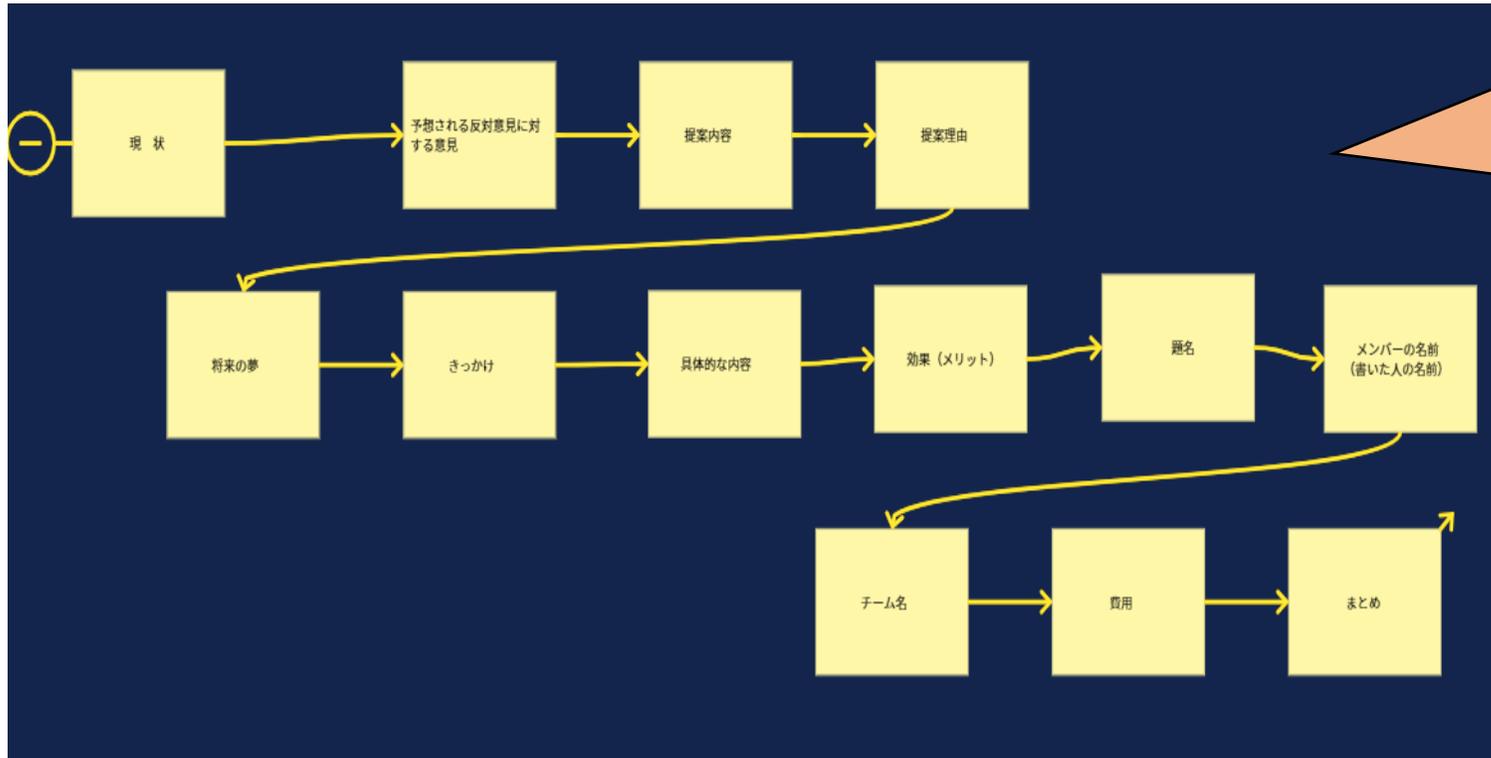
- 直感的に活用できる
- 情報の蓄積も容易
- 根拠が強くなっていく
- 必要な箇所を書き写したり、印刷したりする手間がなくなる
- 班で分担して調べることも可能

自分たちに必要な情報は何かを考え、主体的、対話的に学習を進めることができる→伝えたいことが明確になる

イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

構成の検討

- ① 提案文に必要な項目を選ぶ（ unnecessaryな項目も提示する）
- ② カードの並べ替えで構成を検討する



子供たちは、「分かりやすい・説得力がある文章」にするために何が必要か、どんな順番が良いかといった視点で考えていく

unnecessaryなものは何か批判的に考えていくことで、深い学びになっていく

自力解決→(グループ内での)集団思考→比較検討を通して
構成や展開を考えることができる

ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

ひな形を与える

→(良い・悪い)サンプルも提示することで参考にして書くことができる

Blank template for a proposal form. The form has a title field (題名), a name field (氏名), and two main sections: "1 提案のきっかけ" (Reason for proposal) and "2 提案" (Proposal). Each section has two yellow text boxes for writing.

Completed proposal form with sample text. The title is "マスクのゴミ0で、健康な学校へ" (Towards a healthy school with zero mask waste). The name is "6年1組 齋藤" (6th grade 1st group, Saito). The text in the "1 提案のきっかけ" section describes the problem of mask waste in schools and the difficulty of disposing of them. The text in the "2 提案" section includes a sub-section "(1) マスクへの記名" (Labeling masks) and explains the importance of labeling masks to reduce waste.

枠の中に文章を書くことで、安心して書くことができる
(修正や、並び替え等も原稿用紙に書くより容易)

推敲

見取るポイントを提示する

5つの言語意識

- ①相手意識
- ②目的意識
- ③条件意識
- ④方法意識
- ⑤評価意識

知識・技能(1)

ウ 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。

カ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。

見取るポイントの提示、相互評価

題名 マスクのゴミ0で、健康な学校へ

氏名 6年1組 齋藤

低学年にとって難しい表現。
→校内やグラウンドというのは？

ティッシュと紙はダブっている。紙は書かなくても良い。

1 提案のきっかけ

最近、校外外問わず、よくゴミが落ちているような気がする。以前に増して、マスクのゴミやティッシュの紙も目に付くようになった。マスクのゴミは落ちているかといって簡単に拾ってあげることもできない。そうすると、落ちたマスクのゴミはそのまま放置され続けることになり、自慢の私たちの学校がゴミだらけになってしまう可能性もある。

マスクのゴミは、遊んでいる時などに一時的にマスクを外し、ポケットに入れたものが落ちたと考えられる。もし、マスクを落とし、自分のものがないとなると気付きそうなものだが、それから探すといったことをせず、新しいマスクを付けてしまうことが原因の1つと考えられる。

以上のことから、私たちのグループでは、次の2点の提案をする。

言葉が難しい。

2 提案

(1) マスクへの記名
自分のマスクということを強く意識させるためにもマスクに記名をさせたい。ただし、クラスと名簿番号など、書く内容は学級ごとに決めても良いものにする。

これは、自分のマスクを大切にし、自分の持ち物を落とさない、落としても拾うという習慣を身に付けさせることが大切だからである。その習慣は、やがてゴミを出さないことにもつながり、ゴミ0の学校になっていくと期待する。

オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
→書いた提案文をお互いにチェックし合う

子供→「特定の子供」・「教師」に送る



赤色はオフの状態

①「生徒間通信」をオンにする

②作品(カード)を「送る」にもっていく



③「個人」を選択し、送りたい人を指定する

時間をかけずに友達の文章をチェックできる

カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝い合い、自分の文章の良いところを見付けること。
→いろいろな人との作品の交流、相互評価

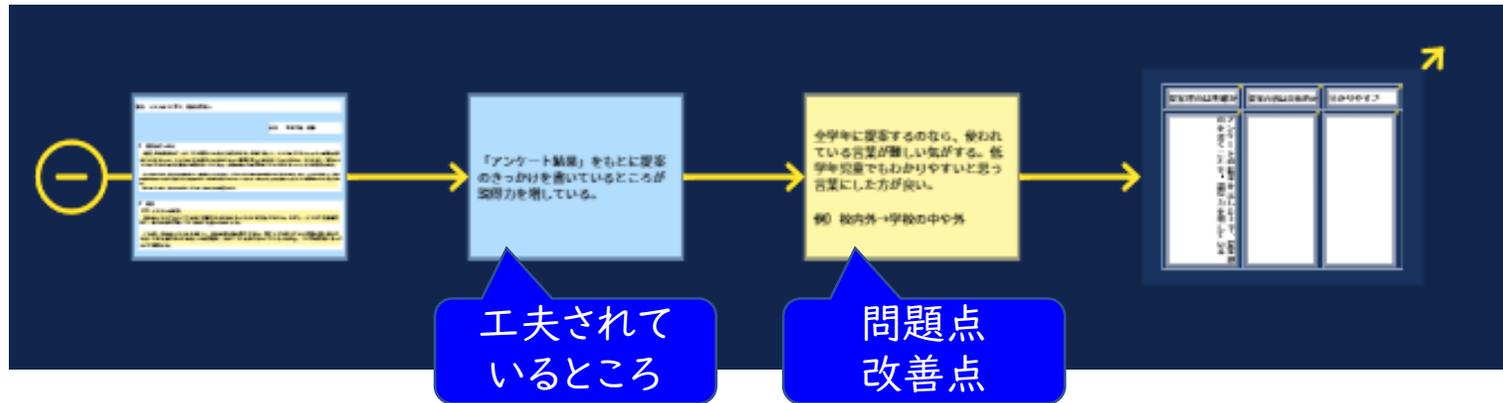
○自分の作品を他のグループに送信

→友達の記事に感想を書き、つなげて相手に戻す。その際、カードの色に意味を持たせる。

○相互評価の観点を書いたカードとともに送信し、相互評価する。

カードの色に意味づけをする

- 工夫されているところ
- 問題点・改善点
- 助言・改善策



工夫されているところ

問題点
改善点

| 提案理由は明確か | 提案内容は具体的か | 分かりやすさ |
|----------|-----------|--------|
| | | |

「シンキングツール」のPMIに評価の観点を書いたものを配る

文字入力をする時、この部分に文字数が表示されるため、「〇字以内」など字数制限を加えて示すことも考えられる

キャンセル カードの送り先を選択

全員

個人

自分のノート

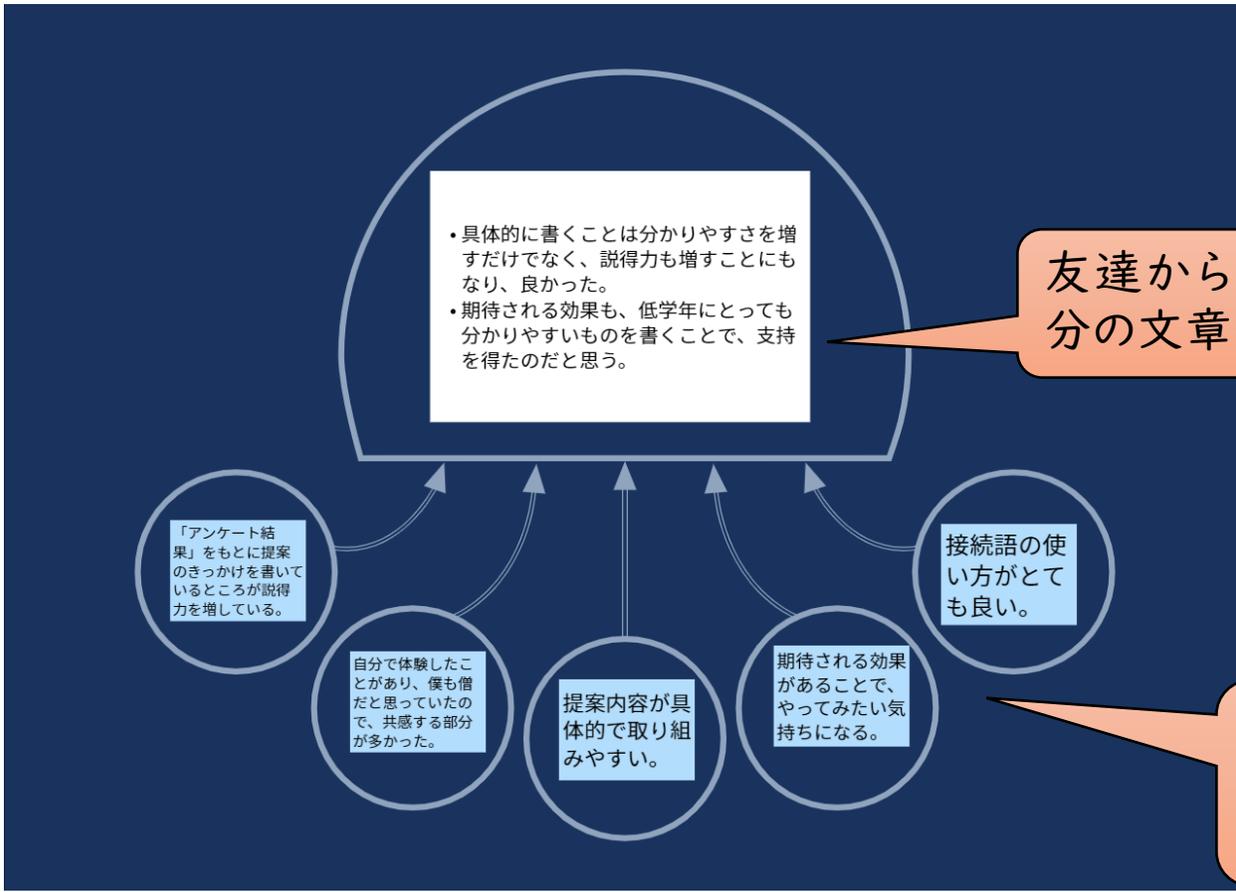
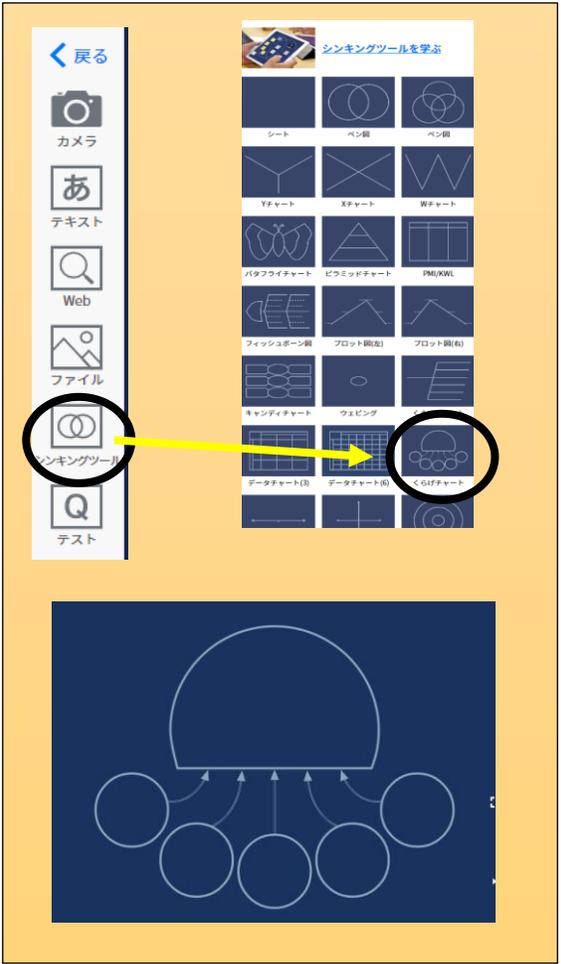
「個人」を選択し、送りたい人を指定する

| 提案理由は明確か | 提案内容は具体的か | 分かりやすさ |
|--------------------------------------|-----------|--------|
| アンケートの結果を示した上で、提案理由を書くことで、説得力を増している。 | | |

カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝い合い、自分の文章の良いところを見付けること。
→シンキングツールを用いて自分の文章の良いところを見付ける。

○友達から届いた青のカードをクラゲチャートにコピーし、自分の文章の良いところを考える

友達からの指摘を根拠にすることで、自分の良さに気付くことが容易となる



友達から届いたカードを根拠にし、自分の文章の良いところを考えて書く

友達から届いた「工夫されているところ」が書かれた青色のカード

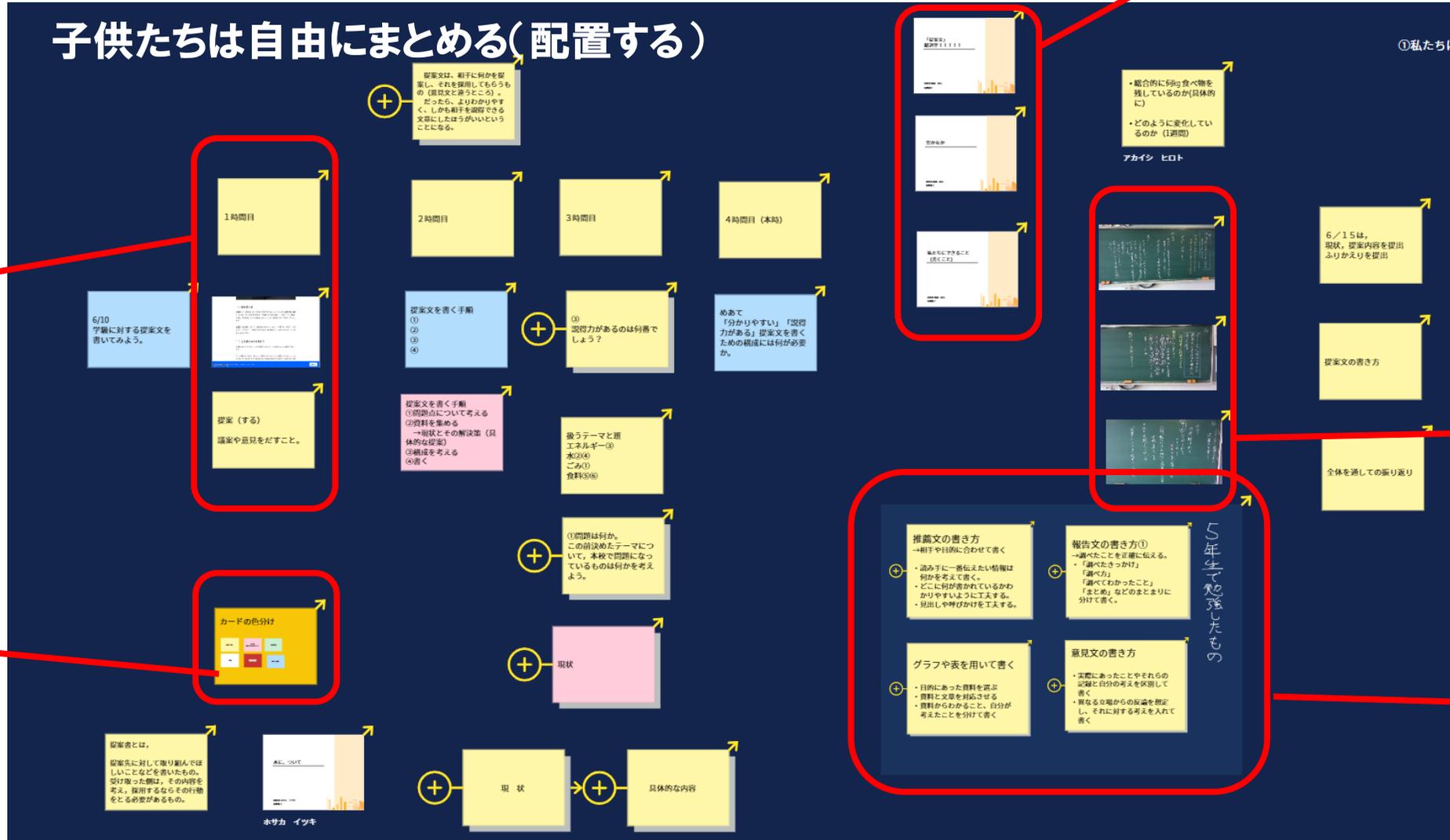
学習履歴としての活用

他の班の子供から届いたアンケート

子供たちは自由にまとめる(配置する)

その日の学習
で使ったカード
はまとめておく

カードの色に
は意味をもた
せる



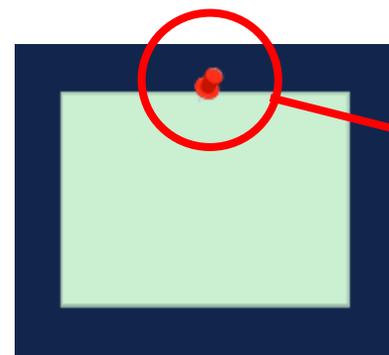
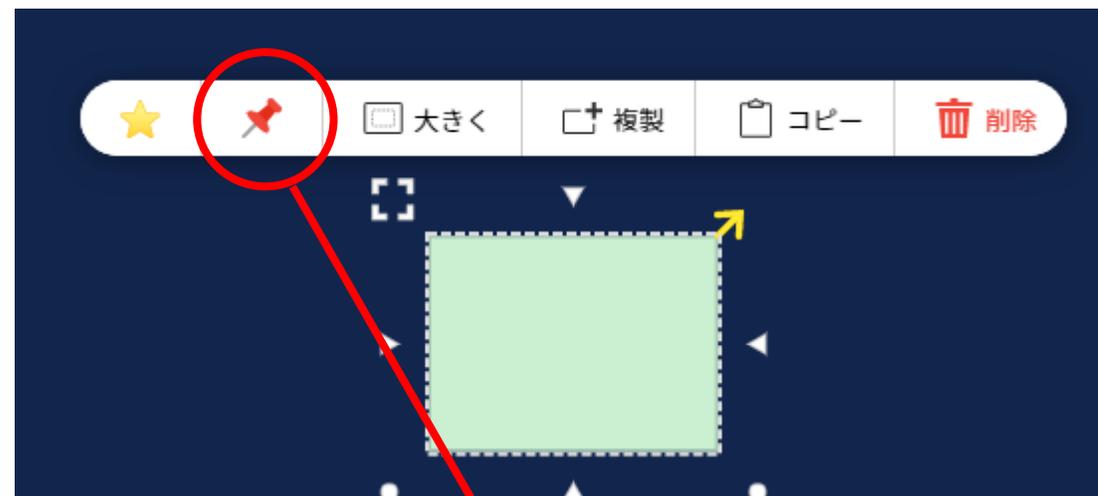
※毎時間の
振り返りは、
提出箱に送
信・保存する

板書は写真撮
影し、いつも
振り返られ
るようにする

5学年で学習
したもの

これまでの学習が一目で分かり、本時の学習に生かすことができる

共有ノート→同時に複数で作業できる！



カードを動かされたくないときは、ピンで留める。

成果と課題

- 単元を通して、主体的・対話的で深い学びとなり、本単元で身に付けたい資質・能力を育むことにつながった
- 書くことに抵抗感をもっていた子供も意欲的に書くことができた
- △機器の操作に慣れる必要がある
 - 継続して使用したことで、一様に慣れてきた
- △紙のノートを普段使用している場合、本単元の学習がそれに記載されないことになる
 - 印刷してノートに貼ることも考えられる